

第 42 回 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー

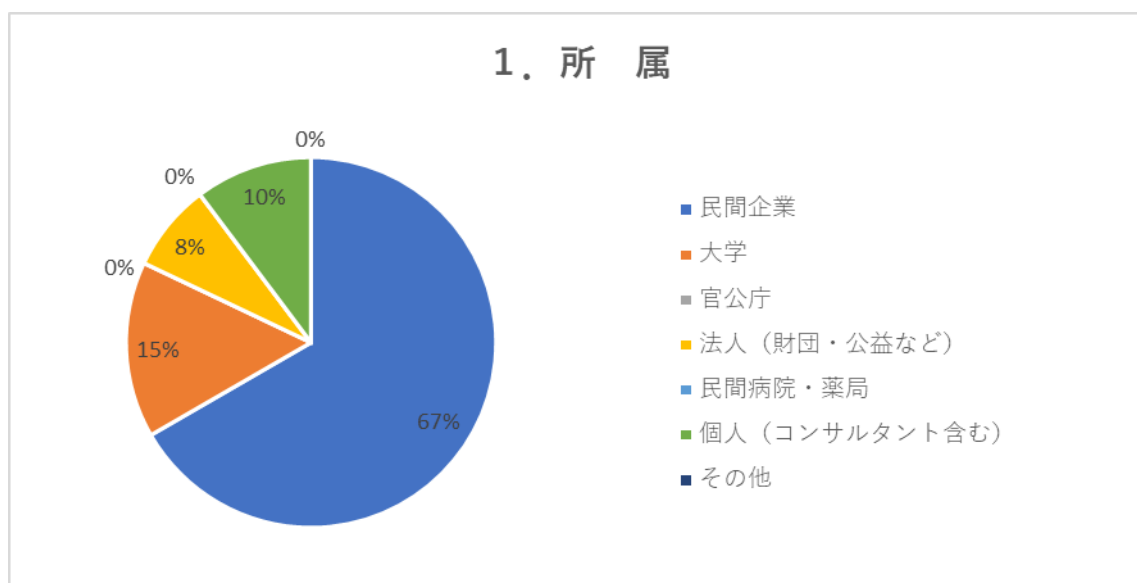
(2024 年 12 月 17 日 WEB 開催) アンケート まとめ

アンケート回答 39 名

講師・関係者含め 106=36%、聴講者 96 名 40%

質問 1. 所属についてお聞かせください

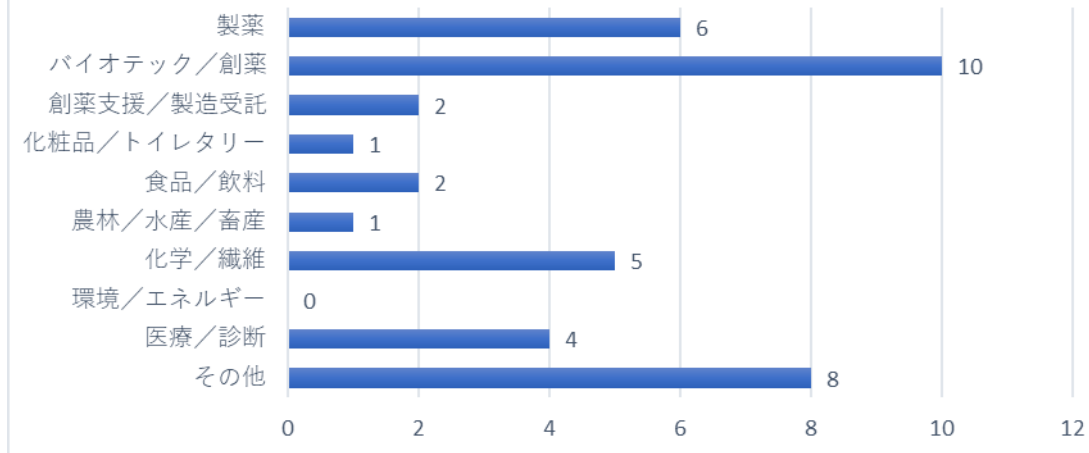
- ①民間企業 : 26 ②大学 : 6 官公庁 : 0 ③法人 (財団・公益など) : 3
④民間病院・薬局 : 0 ⑤個人 (コンサルタント含む) : 4 ⑥その他 : 0



質問 2. 専門分野についてお聞かせください

- ①製薬 : 6 ②バイオテック/創薬 : 10 ③創薬支援/製造受託 : 2
④化粧品/トイレットリー : 1 ⑤食品/飲料 : 2 ⑥農林/水産/畜産 : 1
⑦化学/繊維 : 5 ⑧環境/エネルギー : 0 ⑨医療/診断 : 4 ⑩その他 : 8

2. 専門分野



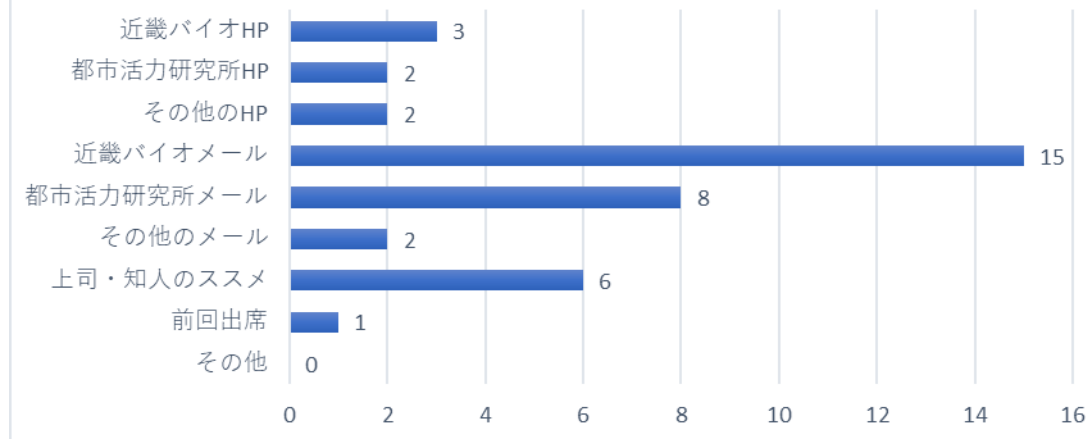
質問2のその他

- 受託分析
- 卸売業
- 分析計測
- プラントエンジニアリング
- 非線形科学（物理、化学、生物学、生命科学などの非線形現象にかかわる科学分野）エレクトロニクス領域
- 薬品ディーラーの管理薬剤師

質問3. 本セミナーを何でお知りになりましたか

- ①近畿バイオホームページ：3
- ②都市活力研究所ホームページ：2
- ③その他のホームページ：2
- ④近畿バイオ案内メール：15
- ⑤都市活力研究所案内メール：8
- ⑥その他の案内メール：2
- ⑦上司・知人のススメ：6
- ⑧前回出席：1
- ⑨その他：0

3. 本セミナーを何で知りましたか



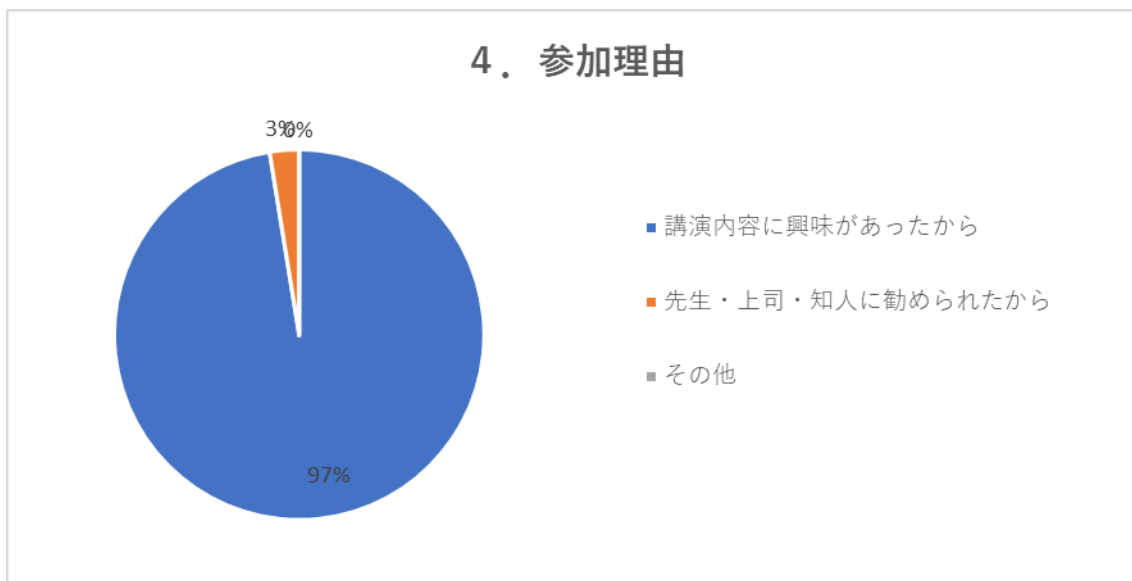
質問3のその他 なし

質問4. 参加理由をお聞かせください

①講演内容に興味があったから : 38

②先生または上司に勧められたから : 1

③その他 : 0



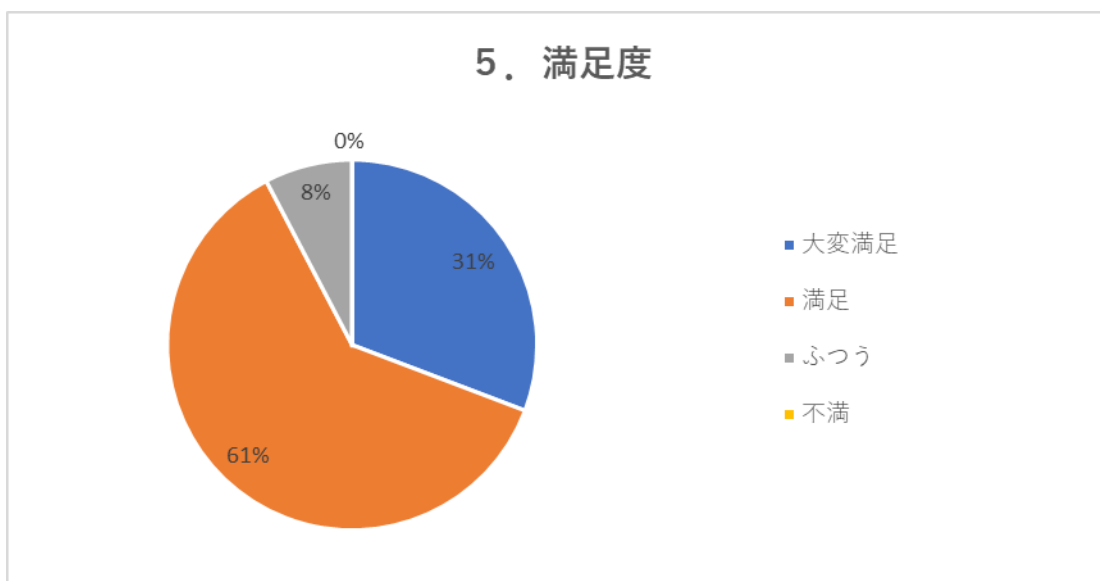
質問5. 満足度をお聞かせください

①大変満足 : 12

②満足 : 24

③ふつう : 3

④不満 : 0

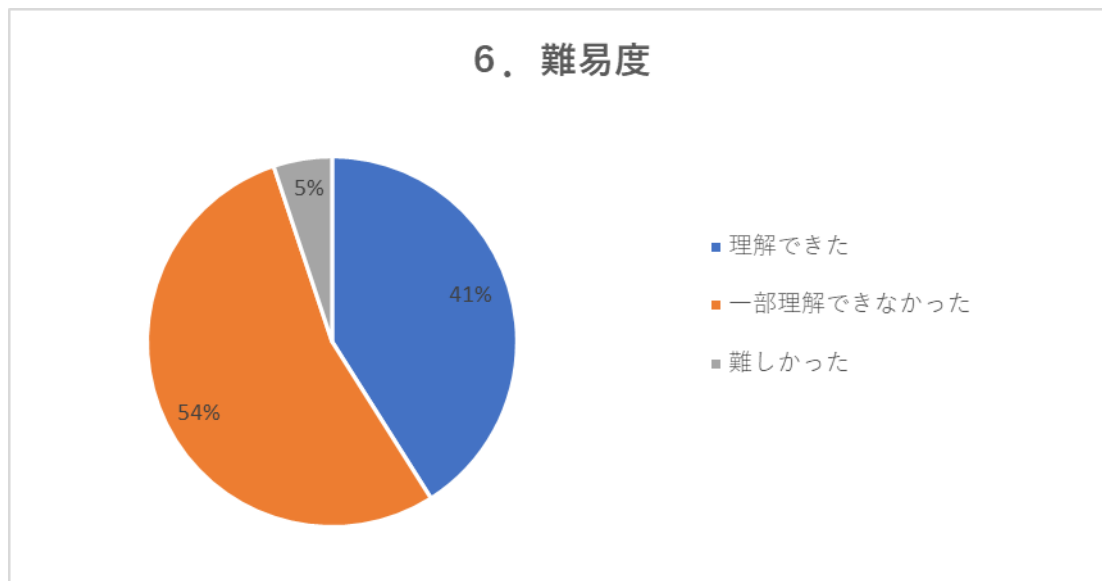


質問6. 難易度はいかがでしたか

①理解できた：16

②一部理解できなかった：21

③難しかった：2



質問7. 今後、本セミナーで取り上げてほしいテーマや講師についてお聞かせください

- 腸内細菌やアミノ酸のDL分析に関心があります。
- AIがBIと創薬に与える影響について
- ライフサイエンス領域でのAI技術の活用
- バイオインフォマティクス
- 自由診療、インバウンド（国際医療貢献）、国際競争力

質問8. ご意見・ご感想

- 詳細の部分は難しい内容でしたが、先生方のご説明がうまく、専門外にも「その技術の価値」が分かるようにお話くださったので、楽しめました。素直に、「ここまで進んでいるのか〜！」と驚きました。今後のバイオモノづくりや医療の発展が楽しみです。
- 植松先生のお話は、大変興味深い話でした。ファージの活用と当局規制をどのように解決していくか興味深いです。
松岡先生の話も、分かりやすく話していただいたと思いますが、少しむつかしかったです。
- 今後も、専門外のものにも公開いただけるとありがたいです。
- 特に植松先生のお仕事には敬服いたしました。今後の発展に期待しております。
- 残念ながら参加できなかったのですが、可能な範囲で資料をご提供いただけますと大変助かります。ご検討よろしく願い申し上げます。

- 講演1では専門用語が多く使われていましたが、講演2では身近な腸内細菌の研究でしたので理解し易かったです。ありがとうございました。
- なかなか専門的でしたが、癌の治癒方法の解決方法の実用化を期待しています。参考になりました。
- 専門分野は異なりますが、生物系として最新の知見を得ることができ、参考になりました
- バイオエコノミー戦略の成功例や、成功に至る経緯（秘話）を聞いてみたい

【主催】公益財団法人都市活力研究所・NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議